

研究課題名	造血器腫瘍患者におけるニューモシスチス肺炎予防に対する低用量アトバコンの有効性とその医療経済的効果に関する研究
研究責任者(職名)	薬剤科：杉 富行（薬剤師）
実施責任者(職名)	同上
研究期間	2019 年 5 月 25 日 ～ 2020 年 12 月 31 日
研究目的と意義	<p>ステロイドや免疫抑制薬、抗がん薬などの治療を受けることにより免疫力が低下し、ニューモシスチス肺炎が起きることがあります。薬剤科ではそのニューモシスチス肺炎を予防されるために服用されるアトバコン（商品名サムチレル）の服用する量（1日2包または1包）による効果の違いについての研究を行っています。</p> <p>この研究結果によって、ニューモシスチス肺炎のリスクが低い患者さんに対する薬剤を減量できる可能性があり、薬剤費の軽減にもつながると考えております。</p> <p>この研究は、研究目的、研究方法などについては当院の倫理委員会で十分に審査されたものです。</p> <p>患者さんの診療録や検査データを用いて解析を行いますが、個人名、住所などは完全に匿名化され、個人を特定することは不可能になっており、患者さんご自身に不利益が及ぶことはありません。今後のアトバコンの治療を受ける多くの患者さんの将来の利益のために行われている研究ですので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さま 永寿総合病院血液内科にてアトバコンを服用された方 約80名</p> <p>●利用する情報 上記様さ対象の方の診療録から、医療歴、血液検査データ、薬剤投与状況、副作用所見などを中心に調査を行います。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 薬剤科：杉 富行（薬剤師）</p>